

ビオトープだより第58号

会員・BA より ビオトープに関する情報を提供します。

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
<https://www.biotope.gr.jp/>

1. 学校・PTA・地域が共に育む中金の自然 ～学校ビオトープを中心に～ 山田 有加（豊田市立中金小学校長）

中金小を取り巻く自然環境

中金小学校は、愛知県内でも特に自然環境に恵まれた地域に位置しています。近隣には、ラムサール条約に登録されている矢並湿地、上高湿地、恩真寺湿地など、湧水湿地が集中しており、貴重な生態系が保たれています。

校区内の湿地では、ハッチョウトンボやヒメタイコウチなどの昆虫類が確認されており、校庭を流れる力石川には、ホトケドジョウやスナヤツメといった希少な魚類も生息しています。

また、学校の北部には地域の人々に親しまれている里山（南山）があり、登山道にはクヌギやコナラが茂り、ウグイスやメジロ、シジュウカラなどの野鳥がさえずります。

春にはヤマザクラが咲き、初夏にはホタルが舞う姿も見られます。校内では、ウメやサクラ、シロバナフジが季節を彩り、アジサイやモミジ、ツバキなども四季折々に美しい姿を見せています。子どもたちは、こうした豊かな自然にふれながら、命の大切さや環境への関心を育んでいます。



校区に生息する生き物

中金小学校ビオトープについて

本校では、創立 150 周年記念事業のテーマとして「自然豊かな中金」を掲げ、ホタルが舞う環境づくりに取り組んできました。かつて校区内では多くのホタルが見られましたが、河川改修や農薬の使用などの影響により、その姿は次第に減少していています。

そこで、総合的な学習の時間を中心にホタルの保護活動を教材として取り入れ、その一環として、株式会社鈴鍵の協力のもと、校庭を流れる力石川の自然環境を活かした学校ビオトープを設置しました。鈴鍵の鈴木社長はビオトープの専門家であり、設置から維持管理まで全面的にご支援をいただいています。今後は、子どもたちと共にこのビオトープを育て、地域の自然の象徴として守り続けていくことを目指しています。



中金で舞うホタル



中金小学校ビオトープ

学校ビオトープを活用した学習

校内に設置された学校ビオトープを活用し、ホタルの保護活動を中心とした環境学習に取り組んでいます。子どもたちは、力石川の水生生物調査やカワニナの採集、ホタルの飼育・放流を通して、生き物が暮らす環境について理解を深めています。さらに、ビオトープ周辺の草木を観察して名前を調べる学習、外来種の選択的な抜き取りにも取り組んでいます。株式会社鈴鍵の加藤さんを地域講師として招き、専門的な知識を学びながら活動を進めています。

2025 年 10 月には、児童文学作家であり矢作川水族館館長の阿部夏丸氏を講師に迎え、環境学習会を全校の子どもたちを対象に開催しました。校庭を流れる力石川での自然体験を通じて、子どもたちは川の生き物とふれあいながら、環境保全の大切さと共に、ビオトープが生き物にとってどれほど重要な場所であるかを学び、身近な自然を守る意識を高めました。

また、毎年行われる 2 月の学習発表会では、「地域がホタルの舞う環境になること」を願い、力石川の調査結果をもとに自然環境の現状や課題について発表しています。



株式会社鈴鍵社員による講習

学校・PTA・地域の協働による自然環境づくり

創立 150 周年記念事業の一環として整備された学校ビオトープは、記念事業のテーマ「自然豊かな中金」を象徴するものです。このビオトープを舞台に、「ホタルの舞う学校、ホタルの舞うビオトープ」を目指して「中金ホタル保存会」も設立されました。

学校・PTA・地域がそれぞれの役割を担いながら協働することで、ホタルが舞う自然環境をみんなで守り育てる持続可能な活動となっています。毎年開催されるホタル観賞会では、保存会が保全・飼育したホタルと地域のホタルと一緒に舞い、ビオトープや学校周辺で幻想的な光景を見せてくれます。天体望遠鏡で星空観察も楽しめ、地域の皆さんに親しまれる盛況な催しとなっています。



ホタル観賞会



星空観察

今後の展望

中金小学校の学校ビオトープは、ホタルが舞う環境づくりの拠点であり、子どもたちが自然とふれあいながら学ぶ大切な場所です。子どもたちは、ホタルの飼育や放流、草木の観察、外来種の間引き等、ビオトープを活用したさまざまな活動を通して、命のつながりや自然のしくみを学んでいます。こうした学びを通して、子どもたちが自然を大切にする心を育み、未来の環境を守る担い手として成長していくことを期待しています。